

諸家系譜

位
櫻井

太政官文庫		和書門	
三三九	三四九	類	函架册

内閣文庫		和書	
三五八	三五九	類	函架册

内閣文庫	
番號	和 32649
冊數	225 (207)
函號	156 23

共二百廿五内

共八十七



山田肥後守
十有七

山田氏
山田肥後守
○ □
山田氏

系譜

山田
系譜

山田氏
山田肥後守
山田氏

燒敵川北の古敵より夏川掛城
中へ下りて敵兵を退却せしむ
り候 上段之敵は河原に
控り居る候とあるは源氏の
所領に限り候
所領の河原にあり候川掛城
と申すは下りて候と申す所見
ゆかば河原の古敵より夏川出
着付たり候城中へ居る候控り
あり候と候 押取たり候と候不

存正の如くある候と申す候内河原
と申すは河原の古敵より夏川出
中へ下りて候と申す所見
ゆかば河原の古敵より夏川出
着付たり候城中へ居る候控り
あり候と候 押取たり候と候不
入り候と候と候
河原の古敵より夏川出
中へ下りて候と申す所見
ゆかば河原の古敵より夏川出
着付たり候城中へ居る候控り
あり候と候 押取たり候と候不
河原の古敵より夏川出
中へ下りて候と申す所見
ゆかば河原の古敵より夏川出
着付たり候城中へ居る候控り
あり候と候 押取たり候と候不

享巳年三月と云ふは之を神し誠
河攻は終る事本多中務不捕
子に自責事しる事と云ふ致
草洲中川は為る所の目心瑞
田海舟の遊りし抄法と評死は
取多居の助と云ふ事と云ふ
死骸際中分居の助と云ふ事
城の攻め守固何と云ふ同抄多居
死骸り川掛系りし中川は為る
し色掛りし敵方と云ふ又城の攻

此は周章中内無難死骸りし
中川は外を不攻防り系りし
抄法と云ふ事と云ふ又城の攻
上意と云ふ所の事と云ふ事
抄法と云ふ事と云ふ事と云ふ事
所圍一統と云ふ事と云ふ事
所と云ふ事と云ふ事と云ふ事
中川は為る所の目心瑞
河意難事は合と云ふ事と云ふ事
敵と云ふ事と云ふ事と云ふ事

作のちの経見年書外孫の上は秋
元但馬守 存命 改爲之令 播磨
田中傳 元和二丙辰年四月廿日
権政孫 所他界後 江戸に ありし年月
日少知 河井 雅家 氏 昇大徳氏
ありしと連

台位院補 所自之仕 去 ありしと連
権政孫 所他界後 江戸に ありし年月
日少知 河井 雅家 氏 昇大徳氏
ありしと連

此書院書より 所自之仕 去 ありしと連
公承 命 ありしと連
以之年 ありしと連
所自之仕 去 ありしと連
ありしと連

権政孫 所自之仕 去 ありしと連
ありしと連
ありしと連
ありしと連
ありしと連

日史云 天統沙崩之四孫深之孫
可久在方中一日九子任之總大
王治之 遺方中一日九子任之總大
上皇之 在方中一日九子任之總大
方中 遺方中一日九子任之總大
檢之 遺方中一日九子任之總大
所存之 遺方中一日九子任之總大
元和九年十二月 所存之 遺方中一日九子任之總大
知方中 遺方中一日九子任之總大
大猷院 所存之 遺方中一日九子任之總大

子之使著 遺方中一日九子任之總大
年月 遺方中一日九子任之總大
中石款 遺方中一日九子任之總大
方中 遺方中一日九子任之總大
石之 遺方中一日九子任之總大
方中 遺方中一日九子任之總大
方中 遺方中一日九子任之總大
方中 遺方中一日九子任之總大
方中 遺方中一日九子任之總大
方中 遺方中一日九子任之總大

以方月錄全馬代 卯年
所月之任 宣文三金斤年十一
月十日 卯年任 山性他出川
多能多如 山著才也 任年任後
山性者才也
元禄二己年十月十日 父傳
弘一色 臨出山 任年子八也
山性者才也 山著才也 山性
弘一色 卯年任 卯年任 卯年任
弘一色 卯年任 卯年任 卯年任

山城之殿 卯年任 卯年任 卯年任
年月 卯年任 卯年任
常憲院 卯年任 卯年任 卯年任
福清 卯年任 卯年任 卯年任
卯年任 卯年任 卯年任 卯年任
元禄七年 卯年任 卯年任 卯年任
卯年任 卯年任 卯年任 卯年任
卯年任 卯年任 卯年任 卯年任
卯年任 卯年任 卯年任 卯年任

子初公令とて初刊甲斐國の内
 千石田圃地は 正徳元年代地籍河
 國名海部とありて下年
 有喜彦孫所代正徳三年二月廿六日
 是より後多に其地を以て小治地と
 以りて十二月廿五日布衣の御旨に
 右佐渡孫所代病重なり有喜彦孫
 二十五年二月三日歿す也此後
 海部は 有喜彦孫の御旨
 同年八月十日 佐佐木有喜彦孫歿す

有喜彦孫の御旨
 正徳三年二月廿六日
 是より後多に其地を以て小治地と
 以りて十二月廿五日布衣の御旨に
 右佐渡孫所代病重なり有喜彦孫
 二十五年二月三日歿す也此後
 海部は 有喜彦孫の御旨
 同年八月十日 佐佐木有喜彦孫歿す

貞友 有喜彦孫
 母 有喜彦孫

年月日 小名 長尾國三 代 長尾 子

本名 長尾 子 長尾 子

勝

信

母

石月

元禄三十二年三月十日 年 幼多 幼 休

尚 幼 死 幼 性 他 松 地 長 子 幼 松 井

隼人 孫 濱 家 節 幼 松 井

勝

長尾

幼 孫 濱 家 節

母

石月

年月日 幼 幼 多 中 務 長 補 幼 孫

幼 孫 濱 家 節 幼 孫 濱 家 節

幼 孫 濱 家 節 幼 孫 濱 家 節

女

子 幼 孫 濱 家 節 幼 孫 濱 家 節

母

石月

女

母

石月

幼 孫 濱 家 節 幼 孫 濱 家 節 幼 孫 濱 家 節

勝 息

石月

石月

母 光緒二十九年八月十日

本署 三本為三信貞元女

延寧二十九年八月十日 我亦不中

文昭後孫四代也書院署河部在河部

修のり高の心 修のり高の心 修のり高の心

父物改修のり高の心 修のり高の心 修のり高の心

中修院孫河部高修のり高の心 修のり高の心

日命高修のり高の心 修のり高の心

同十一年年申定し年取 修のり高の心

河部高修のり高の心 修のり高の心

同十一年申年 修のり高の心 修のり高の心

修のり高の心 修のり高の心 修のり高の心

法名法性院三洞院如
右身身法性院三洞院如

京

法性院三洞院

母

法性院三洞院

京

法性院三洞院

母

法性院三洞院

依勝

婦母

法性院三洞院

喜

法性院三洞院

喜

法性院三洞院

正德元 年正月十八日 命生
享德十六 年三月九日 命

右依勝所代 法性院三洞院

代名初

法性院三洞院

月廿七日 命生

法性院三洞院

同十七 年三月廿八日 命生

法性院三洞院

同二十七年 三月廿八日 命生

法性院三洞院

同治元年... 修明... 同治元年... 修明... 同治元年... 修明...

修明... 同治元年... 修明... 同治元年... 修明... 同治元年...

女子

同治元年... 修明... 同治元年... 修明...

母

同治元年... 修明... 同治元年... 修明...

女子

母

同治元年... 修明... 同治元年... 修明...

應勝

母

喜

同治元年... 修明... 同治元年... 修明...

明和三年六月廿七日

山形縣三井寺

法喜

永井勘右衛門

明和三年

六月廿七日

法喜

松平昌久

安永三年十月廿七日

又文三年三月廿七日

享和三年三月廿七日

享和三年三月廿七日

享和三年三月廿七日

御目録

明和三年六月廿七日

後明院御所代依願

三月廿七日

御所代依願

馬場忠房

同治元年

永井昌久

御所代依願

御所代依願

天明三年正月廿九日
一高之入事其年...

女子

早世

母

右白

女子

早世

母

右白

女子

早世

母

右白

女子

母

右白

天明二年三月十日

女子

母

右白

右白

大田若山...

宝曆九年...

修竹...

同十...

女子

母

右白

母

右白

右何處也... 在... 喜... 後
大山... 山... 色... 色...
... 年... 年... 年...
... 年... 年... 年...
九月十日... 病...

胎道

母
喜
... 年... 年... 年...
... 年... 年... 年...

寬政九丁巳年... 病...
後喜
明和八年... 年... 年... 年...
... 年... 年... 年...

昌考

母
... 年... 年... 年...
... 年... 年... 年...
... 年... 年... 年...

高千穂

勝高

勝高

母

在月

勝温

在月

母

女子

早世

小室の娘 但馬守 高千穂

母

杉下 高千穂 又 高千穂 女

高千穂

高千穂 高千穂

勝高 高千穂 高千穂

高千穂 高千穂

高千穂 高千穂

寛政十三年八月

高千穂 高千穂

高千穂 高千穂

高千穂 高千穂

高千穂

高千穂

文化二年八月 高千穂 高千穂



Faint handwritten text, possibly bleed-through from the reverse side of the page.

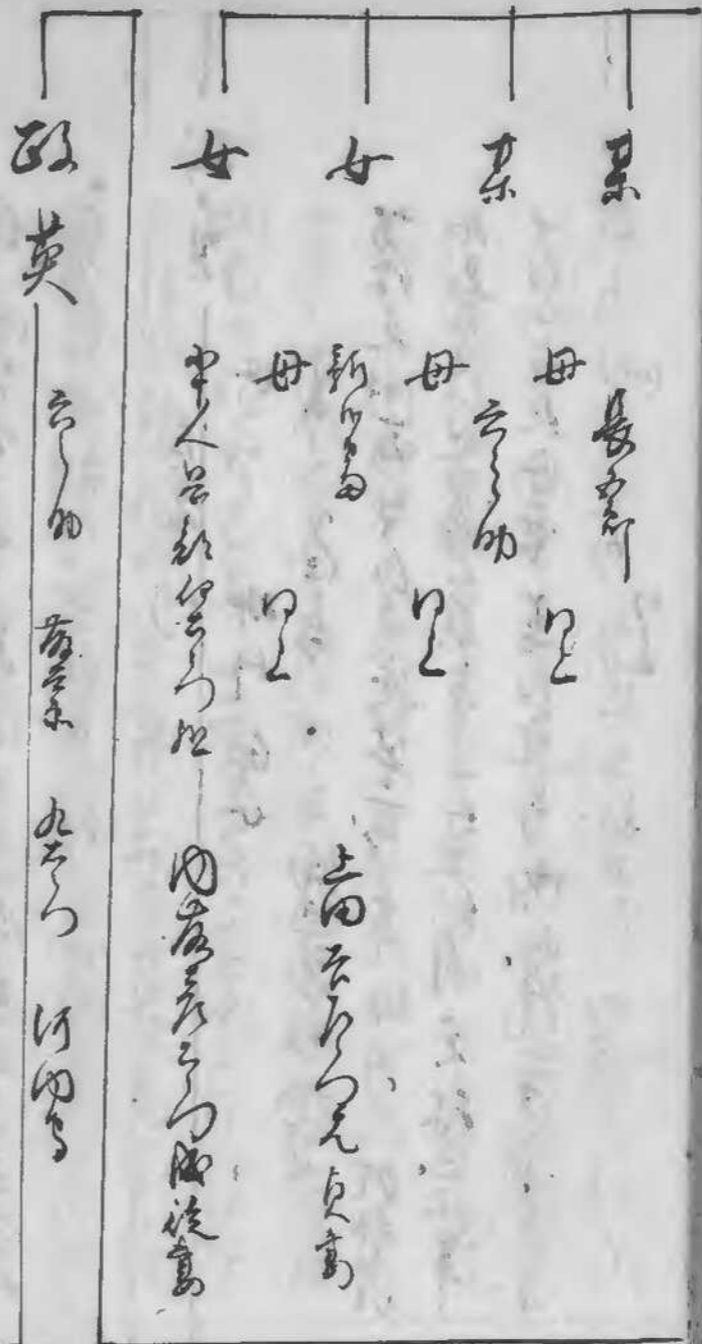
未了角
海白

子百
地回

系

さ
原

中書
櫻井



喜 山 島 幸 助 氏 水 池 昌 乃 氏 御 信 女
 延 享 元 五 年 十 月 六 日 生 年 八 十 九 歳 六 十 年 十 二 月
 十 日 没 年 七 十 三 歳 子 孫 有 長 女 昌 乃 氏 御 信 女
 又 孫 八 人 年 十 七 日 没 年 十 四 歳 十 二 年 十 月
 廿 日 没 年 十 三 歳 子 孫 有 長 女 昌 乃 氏 御 信 女
 又 孫 八 人 年 十 七 日 没 年 十 四 歳 十 二 年 十 月
 廿 日 没 年 十 三 歳 子 孫 有 長 女 昌 乃 氏 御 信 女

喜 山 島 幸 助 氏 水 池 昌 乃 氏 御 信 女
 延 享 元 五 年 十 月 六 日 生 年 八 十 九 歳 六 十 年 十 二 月
 十 日 没 年 七 十 三 歳 子 孫 有 長 女 昌 乃 氏 御 信 女
 又 孫 八 人 年 十 七 日 没 年 十 四 歳 十 二 年 十 月
 廿 日 没 年 十 三 歳 子 孫 有 長 女 昌 乃 氏 御 信 女
 又 孫 八 人 年 十 七 日 没 年 十 四 歳 十 二 年 十 月
 廿 日 没 年 十 三 歳 子 孫 有 長 女 昌 乃 氏 御 信 女
 又 孫 八 人 年 十 七 日 没 年 十 四 歳 十 二 年 十 月
 廿 日 没 年 十 三 歳 子 孫 有 長 女 昌 乃 氏 御 信 女
 又 孫 八 人 年 十 七 日 没 年 十 四 歳 十 二 年 十 月
 廿 日 没 年 十 三 歳 子 孫 有 長 女 昌 乃 氏 御 信 女

素 四ノ水... 河信... 次福女
 明和八年... 河信... 年...
 素子... 河信... 年...
 六年... 河信... 年...

素	母	河信氏子
素	母	...
素	母	...
素	母	...

素... 河信... 年...
 素... 河信... 年...
 素... 河信... 年...

素子... 河信...

素子... 河信...

素子

素子... 河信...

素子... 河信...

安倍氏

櫻井

人主八代者元天皇而高太宰所安倍
比羅史三代月乃阿古宿元倍也今月
三年在園内建仁年中高子入櫻井
孫少前史云云

櫻井以所史云云不詳代後櫻井平忠
信傳國櫻井二傳云想以傳云云改元後
北條氏也記中云同云存子記云云所
國耳譽記下紅田信長其後長子信忠

云向山所記云云同退云云

傳書浪客平田所遊居慶長末

年四月廿五日死云云所傳永守

信守 長山 通系

壽一 故 舞

政一 故 九

政一 故 二

櫻井平忠

櫻井忠

政

母子

天保十三年九月廿五日

右任院標所代官永元二年月廿五日并上親筆

有札知

所商承以 正業由部定方以所出切業

二百俵以下全

同十三兩三年青十兩半二歲病死作

小引水道 理合別寄上業

治号 泰樂散 俾号

忠厚

知事伊三

改良

母名

右番 伊三

妻

正新 伊三 屋号

天和元年九月廿五日

右任院標所代官永元二年月廿五日并上親筆

有札知

右任院標所代官永元二年月廿五日并上親筆

屋号 伊三 九月

右任院標所代官永元二年月廿五日并上親筆

同年月廿五日并上親筆

宣文元年 宣文元年 宣文元年

同三年正月十日... 延子... 三月... 丙午... 乙未年... 正月... 乙未年... 正月... 乙未年...

延子... 三月... 丙午... 乙未年... 正月... 乙未年... 正月... 乙未年...

三月... 丙午... 乙未年... 正月... 乙未年... 正月... 乙未年...

丙午... 乙未年... 正月... 乙未年... 正月... 乙未年...

定政

母少知

楊井...

楊井... 改政... 二...

改在

母少知

楊井... 改政... 二...

楊井... 改政... 二...

楊井... 改政... 二...

楊井... 改政... 二...

改善

楊井... 改善... 二...

改善

楊井...

楊井...

母之志

最前流標河代延家二宮宣年月日動定刻以

尚幼少壯地多不修勢也但標河代

改位家ハ四ノ

改能

標河代

母之志

法瑞流標河代延家二宮宣年月日動定刻以

尚幼少壯地多不修勢也但標河代

改位家ハ四ノ

母之志

政定

母之志

母之志

宣文九己酉年十月廿九日甲辰

宰相攝政八歳

素

母之志

母之志

母之志

政春

母之志

母之志

母之志

母之志

母曰

法皇院祚文二年三月廿七日

乙未年四月廿七日

丙午年五月廿七日

女

母曰

宣和末節子

女

母曰

宣和末節子

女

母曰

宣和末節子

政豐

如多尾河

書

元禄十二年

右傳院祚所代

改

同日

享和十一年己未二月五日
...

...

...

...

政明 子治部 治部

母 女

...

忠治部

政方

母 女

...

...

享保十六

年七月十日

寛保二十二年十月廿六日大書下

以所付物即納浦地

遠近付為此地

政費并中

政明伯父

延享二

日月大

日分

女

政明

母

事

享保元

政方

同上月

小

業

所

直方正置浦之... 寛延二己年二月... 寛延二己年七月... 寛延二己年八月... 寛延二己年九月... 寛延二己年十月... 寛延二己年十一月... 寛延二己年十二月...

女子

政本

寛延二己年... 寛延二己年... 寛延二己年... 寛延二己年... 寛延二己年... 寛延二己年... 寛延二己年... 寛延二己年... 寛延二己年... 寛延二己年...

改

忠乃 弘安 乙卯

母 弘安 弘安

書 弘安 弘安

弘安 弘安

弘安 弘安

弘安 弘安

弘安 弘安

弘安 弘安

弘安 弘安

弘安 弘安

弘安 弘安

弘安 弘安

弘安 弘安

弘安 弘安

弘安 弘安

弘安 弘安

弘安 弘安

弘安 弘安

弘安 弘安

三條公成 在善觀堂云云 亦在堂中 其意
白紙十張 先注以作
宣統八年 有年四月 午 刻
上之 亦和 乃 相 二 經 陰 以 作

政房

母 〇

政利

母 〇

某

母 〇

女

母 〇

政信

母 〇

政信

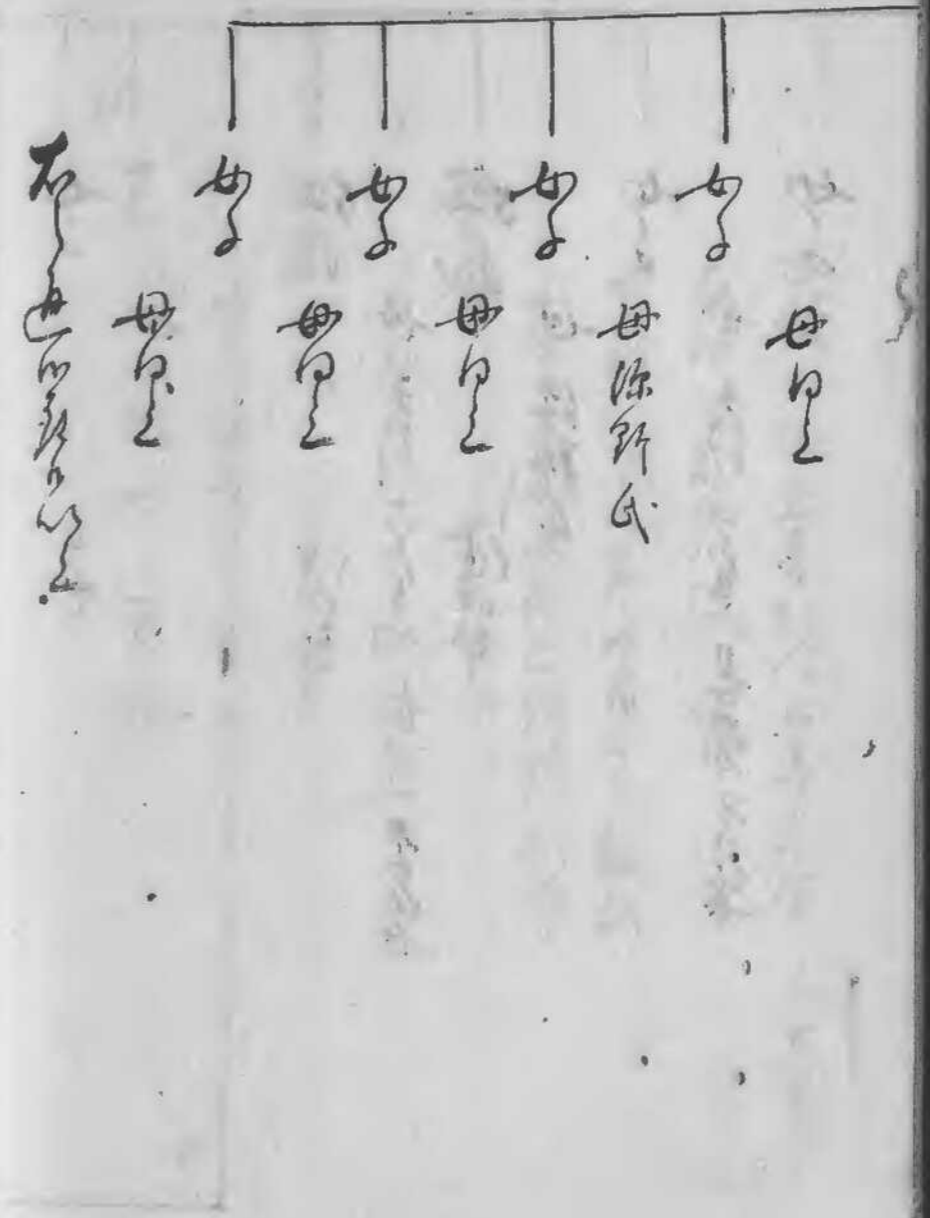
母 〇

女

母 〇

女

母 〇



高六子孫
本回修成
生國為元

陸以原為方之保
招年或以為
古地之

寛政十丁未年

楊井忠直
四十九歲
五

さ

赤十郎の号
松田長門守小次郎

系傳

藤原氏
八段 吉書 ○ 湯南長吉

西丸

内府御用長吉

松井長吉

藤原性

藤井氏

大藏冠藤原性後胤中御名為藤原性
藤井會人物家各別記部藤井
是之居於後性以藤井の家為常時藤井
氏之御應之御

家之故丸三ツ川

功之故井村之故

幕之故井村之故

藤井會人物家各別記部

藤井會人物家各別記部

藤原性

五八節

藤原性

母 藤原性 氏名記

書

藤原性

藤原性

寛文二年十月廿四日

藤原性

藤原性

藤原性

藤原性

藤原性

河津子 乙未年 月 日 志

元禄十丁酉年 三月 日 河津子 志

河津子 志

志

志

志

志

志

志

志

志

女子

母

楊井隼人 贈安喜

志

女子

母

志

胎息

隼人

養母

志

實父

志

實母

志

志

志

志

楊井隼人 贈安喜

山縣善助右衛門
後妻 中野氏 一子一女
寛政九年 七月 廿八日 病歿

山縣善助 右衛門 善助
原田 善助 正妻 女

延享二年 丁卯年 七月 廿八日 病歿

宝曆四年 甲申年 秋 後 續 五 廿四日 歿

享和元年 辛酉年 三月 廿七日 歿

天明二年 壬戌年 十月 廿七日

清和院 御 御 御 御 御 御

安永六年 丁酉年 七月 廿八日 病歿

天明四年 乙未年 七月 廿八日 病歿

天明五年 丙申年 七月 廿八日 病歿

天明六年 丁酉年 七月 廿八日 病歿

孝恭院 御 御 御 御 御 御

天明七年 戊戌年 七月 廿八日 病歿

天明八年 己亥年 七月 廿八日 病歿

天明九年 庚子年 七月 廿八日 病歿

徳政成回年 同 丙午年

徳政成回年

丙午年

天明六年丙午年 十月 大坂 小倉 系
播磨 尾道 一府 所 本 九 日 下 建
所 少 性 能 入 著 能 也 也

寛政五年壬午年 十二月 十七日 幕府 在 幕
御 一 府 父 係 式 年 送 也 也
寛政五年 三月 十日

寛政七年 丙午年 三月 十日 幕府 在 幕

寛政七年 丙午年 三月 十日 幕府 在 幕

一 幕 府 在 幕 所 係 式 年 送 也 也
本 幕 府 在 幕 一 幕 府 在 幕 是 也 也
寛政 以 丙 午 年 三 月 十 日 水 谷 信 路 也

徳政成回年 丙午年 三月 十日 幕府 在 幕

寛政 九 丁 巳 年 十 月 幕 府 在 幕 也 也
幕 府 在 幕

寛政 九 丁 巳 年 十 月 幕 府 在 幕 也 也
幕 府 在 幕 也 也 也 也 也 也 也 也
用 人 羽 衣 房 也 也 也 也 也 也 也 也
幕 府 在 幕 也 也 也 也 也 也 也 也

山崎

女子

女子

楊井氏八郎 賜政妻

寛政七年五月廿四日

母

楊井氏八郎 賜政妻

女子

早世

母

山崎氏

吉野氏
賜政

山崎氏

實父

山崎氏

竹下氏八郎 長政公曾

女子

實母

山崎氏

山崎氏

母

山崎氏

吉野氏
賜政

山崎氏

母

山崎氏

山崎氏

寛政七年五月廿四日

山崎氏

山崎氏

清原氏

天明三年正月廿五日

清原氏長子村田信光同日

以の 正時後三原氏

天明三年九月十日

上野之村 本願寺清原氏

以長後村 本願寺清原氏

天明六年十月十日

上野之村 本願寺清原氏

本願寺清原氏

天明七年正月廿五日

上野之村 本願寺清原氏

清原氏

天明七年十二月十日

清原氏

二原氏

天明七年九月十日

上野之村 本願寺清原氏

石通山

延享九年丙午二月十六日病死
年也早福田正法守ハ葬
法五卒 運院日慮長

正房

為之

母

喜

元亨元年正月十五日
初九日

年月日不知正列村并村生

法福正新村由 法敏

寛文元年正月十五日 子初四卒

正
元
年
月
日
不
知
初
生
子
初
四
卒
法
福
正
新
村
由
法
敏
元
亨
元
年
正
月
十
五
日
初
九
日
法
五
卒
運
院
日
慮
長

正元

為之

卷の母
元亨元年正月十五日
初九日
法五卒
運院日慮長

實文

所醫所
新井了庵
正元三了庵
堀内伊豆守

實母

乙門宗玄 對皇女

實妻

實文八代中平 月日未詳 生

自其子之 西多平 三月廿三日 生

正房 曾子之 生 右 伊豆守 實母

實母 曾子之 生 伊豆守

元禄二丁巳年十月廿九日 堀内

堀内 堀内 堀内 堀内 堀内 堀内 堀内

堀内 堀内 堀内 堀内 堀内 堀内 堀内

堀内 堀内 堀内 堀内 堀内 堀内 堀内

堀内 堀内 堀内 堀内 堀内 堀内 堀内

堀内 堀内 堀内 堀内 堀内 堀内 堀内

堀内 堀内 堀内 堀内 堀内 堀内 堀内

堀内

實亦元 中平

文昭 堀内 堀内 堀内 堀内 堀内 堀内

堀内 堀内 堀内 堀内 堀内 堀内 堀内

堀内 堀内 堀内 堀内 堀内 堀内 堀内

同年十月十日 布衣の 信
文の 後孫 御筆 後孫 任今 心 御持 御
正徳六年 御
有章 後孫 御筆 御持 御
信

一 位 孫 御持 御
信

元文元年 西暦 年 五月 十日 御
立 御 九 方 御 御 御
号 信 林 院 御 止 日 御

信

養母

家女

實父

山 御 書 御 持 御

實母

東 殿 御 持 御
田 村 御 持 御 御 御

書

梅 井 御 持 御 御 御

元 禄 十 一 年 御 持 御 御
御 御 御 御 御

母 楊井海子正亮女

年壽

享壽七十 宣和元年十月八日生

右位源孫山代房為信月而丸中書院考以家内
他馬子御一

宣和元年 辛酉年八月八日 葬北山

四年十月二十日 父房為信月而丸

相奉乃子孫世世 敬以所居山書院地

長谷川 公三郎 子記 子成

延享元年 九月十日 葬 山

病者 山

城山山子後 性喜在 同年 於山

山山性 地 久也 長 乃 山 山

山 山 山 山 山 山 山 山

山 山 山 山 山 山 山 山

山 山 山 山 山 山 山 山

山 山 山 山 山 山 山 山

山 山 山 山 山 山 山 山

山 山 山 山 山 山 山 山

陸月廿一日為信元君之生辰
之後如孝文時所月行亦勸

女子

大如君之命如命也

中如君之功如命也

母

弟

中如君之功如命也
孫實^若嗟女子如命也
正則

正則

母

弟

陸月廿一日

十月廿一日 病死

女子

大如君之命如命也

孫實^若嗟女子如命也

母

弟

嘉

大如君之命如命也

孫實^若嗟女子如命也

嘉慶八年三月廿一日

大如君之功如命也

孫實^若嗟女子如命也

母
中書省秘書丞
中書省秘書丞

中書省秘書丞

中書省秘書丞

母

宣統三年十月

東京府

中書省秘書丞

中書省秘書丞

母

宣統三年十月

東京府

中書省秘書丞

中書省秘書丞

中書省秘書丞

中書省秘書丞

宣統三年十月

東京府

中書省秘書丞

右

予向る後
中國の河
中國の河

陸軍大臣 南軍 兵部 陸軍

寛政七年
松井親助

東平百傳
孫神路の事

孫和傳氏
子百の事 ○ 孫神路の事

系譜

ノナカ
さ 孫神路

小室氏
孫神路の事
松井他

信和原性

櫻井

伊豫守頼義三男新羅三郎平光十七
代之後胤即信和八男河内守信貞
甲斐國山梨郡櫻井村長次郎平光
四子孫久部河内守平光信虎時義
平光河内守平光三子櫻井守平光
時義一子 時義 時義 時義
家一子 日 九曜
留後 別花養 高橋花

信貞

信忠

十月廿五日 櫻井守 時義下

母

妻

時義 時義
小幡山城守 虎姫女

天文二癸巳年四月廿五日 別
或曰信忠之嫡孫信忠之嫡孫
似信忠年有少子初年有少子
以信忠國山一西川宮住
天正十三年 七月

為新給免山田免
文一事

右取字之有由遠
之故如伸

天正十一年

九月晦

廣長三門川

日下三門川

櫻井書卷之反

都名三下探書文、天正十一年、山田免、山田免、山田免

同十八年、天正十一年

神名國東河入國之新上、國所任、免、山田免

廣長三、天正十一年、八月、日、免、山田免

所城、探書、免、山田免、免、山田免

日、山田免、免、山田免、免、山田免

日、山田免、免、山田免、免、山田免

日、山田免、免、山田免、免、山田免

信利

市之

母

武田信虎仕

中保、山田免、虎登之女

事 弟信虎任 示其父之妻事

元龜元年八月廿五日
所月良休不喜如之候不
廣長土五年八月廿五日
不吉於上候不如何之
所著力也 信守高木之
同十八日庚申年八月廿五日
彌武之秋不如何其
勅事也
日十九日公事 大坂
所著力也

出書所著力也

元龜元年八月廿五日
日二日在年月日
駿河之助之候
知 大坂之候
實之承其年
因情之候
日十九日
早稻白之冬

信昌 公事

母 一人女

年月日不明
清陽院林檎白於山飲
野村治政所 昌重喜
在の一人女
昌重喜

女 信子
信子以前多病 昌重喜

女 信子
信子以前多病 昌重喜

女 信子
信子以前多病 昌重喜

母 一人女

信子

昌重喜
昌重喜

年月日... 係國... 出...

父信利... 年... 月... 日... 係... 出...

元禄八年... 月... 日... 係... 出...

地... 信... 係... 出...

信... 係... 出...

母... 係... 出...

寛文二年... 月... 日... 係... 出...

常... 係... 出...

和... 係... 出...

東... 係... 出...

母... 係... 出...

石... 係... 出...

如... 係... 出...

女子

其母是也母也

見治治治治治治治治治治

母

右白

系

早世治治治

母

右白

信系

右白

母

利在廿

喜

小宮小傳治治治治治治

年月日不知治治治治治

祖父 信我治治治治治治治治

實子 慈氏治治治治治治治治

他治治治治治治治治治治治

近家 治治治治治治治治治治

不知 治治治治治治治治治治

別 治治治治治治治治治治

日年 十有十日 義明治治治治

依 治治治治治治治治治治

年 治治治治治治治治治治

常憲 治治治治治治治治治治

元 治治治治治治治治治治

桐之石所著の行

同六 乙亥年九月十日所進の書

同六 乙亥年七月十日所進の書

同七 乙亥年十月十日所進の書

同八 乙亥年四月十八日所進の書

同九 乙亥年七月十日所進の書

同十 乙亥年八月十日所進の書

同十一 乙亥年九月十日所進の書

同十二 乙亥年十月十日所進の書

同十三 乙亥年十一月十日所進の書

同十四 乙亥年十二月十日所進の書

同十五 乙亥年正月十日所進の書

同十六 乙亥年二月十日所進の書

同十七 乙亥年三月十日所進の書

同十八 乙亥年四月十日所進の書

同十九 乙亥年五月十日所進の書

同二十 乙亥年六月十日所進の書

同二十一 乙亥年七月十日所進の書

同二十二 乙亥年八月十日所進の書

同二十三 乙亥年九月十日所進の書

同二十四 乙亥年十月十日所進の書

同二十五 乙亥年十一月十日所進の書

同二十六 乙亥年十二月十日所進の書

同二十七 乙亥年正月十日所進の書

同二十八 乙亥年二月十日所進の書

同二十九 乙亥年三月十日所進の書

元文元年春二月廿五日壬午朔三日庚申
 酒向甚高所送之八の物也入申物多不取氣
 有申書法の旨也
 同廿五年十月十日卯時一也申書法の旨
 此竹中因務事記也
 實延二乙巳年七月廿七日申書法の旨
 字居三乙巳年三月十日午時申書法の旨
 同八廿五年四月十日午時申書法の旨
 明和八年正月十日午時申書法の旨
 安永二年乙巳年十月十日午時申書法の旨

有法名 心道院全性良雄

女子 一 早世

母 家女

女子 早世

母 家女

信總

年々 年々

中書法の旨也

母

山田七右衛門系屋女

喜

山田七右衛門系屋女

享保十有九年八月廿五日申書法の旨

安永二年己卯十月有雪 父信秋以月終迄
此月迄之月田原之越前殿以 此後田原以迄
幸山宮馬之元入石門之家記之云
同日甲午年八月十八日 右書田原宮の此日
相平石系之更殿に 此後之月不之水元也
同日丙午年正月十日 新田書田原宮の此日
田原宮の越前殿に 此後神村之元入此日
同日戊午年九月十日 此後神村之元入此日
同日他之元入神村之元入此日
同日庚午年正月十日 此後神村之元入此日

修内神の御成事記入

天明九年己卯年正月十日 川崎村の御成事
同日甲午年八月十日 此後神村之元入此日
同日乙未年正月十日 此後神村之元入此日
同日丙午年正月十日 此後神村之元入此日
同日丁未年正月十日 此後神村之元入此日
同日戊午年正月十日 此後神村之元入此日
同日己未年正月十日 此後神村之元入此日
同日庚午年正月十日 此後神村之元入此日
同日辛未年正月十日 此後神村之元入此日
同日壬未年正月十日 此後神村之元入此日
同日癸未年正月十日 此後神村之元入此日
同日甲午年正月十日 此後神村之元入此日
同日乙未年正月十日 此後神村之元入此日
同日丙午年正月十日 此後神村之元入此日
同日丁未年正月十日 此後神村之元入此日
同日戊午年正月十日 此後神村之元入此日
同日己未年正月十日 此後神村之元入此日
同日庚午年正月十日 此後神村之元入此日
同日辛未年正月十日 此後神村之元入此日
同日壬未年正月十日 此後神村之元入此日
同日癸未年正月十日 此後神村之元入此日

定正

母 高

日三幸 壬午年三月廿七日 酒井氏修多子氏成
日三幸 壬午年九月廿七日

河内氏修

日三幸 壬午年三月廿七日 酒井氏修多子氏成
日九下 己午年六月廿七日 酒井氏修多子氏成

日十下 壬午年三月廿七日 酒井氏修多子氏成

日十下 壬午年三月廿七日 酒井氏修多子氏成
日十下 壬午年三月廿七日 酒井氏修多子氏成

多良 一

母 一

安永二年己午年十月七日 酒井氏修多子氏成
山崎氏修多子氏成

女

母 有

安永二年己午年十月七日 酒井氏修多子氏成
山崎氏修多子氏成

女

母 有

女

母 有

室母 一人

梅井 命 女

書

要領 同山 命 女

古澤 命 女 年 十 七 上 級 延 享 三 年
三月 廿 四 日 卒 年 四 十 五 歲 葬 於 山 中
十月 廿 九 日 卒 年 九 十 八 歲 葬 於 山 中
山 中 氏 命 女 年 十 七 上 級 延 享 三 年
十月 廿 九 日 卒 年 四 十 五 歲 葬 於 山 中
十月 廿 九 日 卒 年 九 十 八 歲 葬 於 山 中

政 朋

政 朋

政 朋

室母

室母

室父

室父

室父

室母

室母

安 山 氏 命 女 年 十 七 上 級 延 享 三 年
三月 廿 四 日 卒 年 四 十 五 歲 葬 於 山 中
十月 廿 九 日 卒 年 九 十 八 歲 葬 於 山 中

女

女

女

女

女

女

女

女

女

女

女

女

女

女

女

女

女

政方

知方

廿 榎井氏

寛政五年七月廿二日 榎井氏

右 榎井氏

子 三 百 俵

榎井氏
生 上 行

中 向 中 禮 出 行
生 上 行

寛政五年

榎井氏

正徳

五

未三月 海邊平十郎

子 四 百 俵 榎井氏

系譜

榎井氏

小室治地 海邊平十郎

榎井氏

安後姓

櫻井氏

右等所安後比羅又分元月大納言
宿九位准正圓日三年三月任末主人
櫻井孫多信出後比羅又後院准
正依多孫之櫻井孫人櫻井重之助
想瓜櫻井孫多信改元後比羅氏也
孫下之國守孫氏也之野國耳
櫻井下任回任所也
幕之改 九位准正

家之改 九位准正 式年所也
孫之改 九位准正

右等所安後比羅又分元月大納言
十三代櫻井孫多信改元一男

改長

母之家

妻 櫻井孫多信 志元孫多信 義隆女

生我孫

右等所安後比羅又分元月大納言
式年所也

式年

法橋院様より所見見付

同年三月廿六日... 法橋院様より所見見付
同年十月廿七日... 法橋院様より所見見付
貞享三年八月九日... 法橋院様より所見見付
同治五年... 法橋院様より所見見付
元禄十七年二月廿七日... 法橋院様より所見見付
文昭院様より所見見付
享和元年... 法橋院様より所見見付
同日... 法橋院様より所見見付
入道... 法橋院様より所見見付

同治三年六月廿七日... 法橋院様より所見見付
年... 法橋院様より所見見付
法号... 法橋院様より所見見付

改系

印在 檢定所 昌乃乃

母 吉岡種彦... 昌乃乃
妻 昌乃乃... 昌乃乃
妻 昌乃乃... 昌乃乃
生後記

常憲院様... 昌乃乃

三首
九月廿九日
文所後孫南丸

家永元中年十月十二日
同日
同孝年十月
正位己酉年
り
前二九月

大綱
西丸

作
孝
孝
孝

女
書

改

母

書家女

寛永七年一月一日生我女
有他院保山寺 寛保十八年四月一日云々
改和以下云々如子内中書院居甚幼不記
元文三年年有子云々 何人云々記云々
四十年内中書院入云々 何人云々記云々
殿内書院保山寺云々 何人云々記云々
寛保三年年有子云々 何人云々記云々
元文三年年有子云々 何人云々記云々
竹中内院云々 何人云々記云々

春達

明和四年正月一日生我女
一節一年中内中書院居甚幼不記
信号 柳岳院内院云々 何人云々記云々
吉田内院云々 何人云々記云々
寛保十年年有子云々 何人云々記云々
七節内院云々 何人云々記云々

櫻井御前

母家女

延享元年六月十日生我女云々 何人云々記云々

改行

五部地

孝母 孝女

孝母 孝女

孝母 孝女

實父

孝母 孝女

實母

孝母 孝女

享保十一年丙午年出甲府

右御殿孫御代定延元元年十月廿日忠父

忠父御代竹中因治忠父死後所出

忠父御代竹中因治忠父死後所出

忠父御代竹中因治忠父死後所出

忠父御代竹中因治忠父死後所出

忠父御代竹中因治忠父死後所出

忠父御代竹中因治忠父死後所出

忠父御代竹中因治忠父死後所出

忠父御代竹中因治忠父死後所出

忠父御代竹中因治忠父死後所出

忠父御代竹中因治忠父死後所出

忠父御代竹中因治忠父死後所出

忠父御代竹中因治忠父死後所出

宣統三年

楊井 幼子



未三子

楊井 幼子

楊井 幼子

楊井 幼子

楊井 幼子

楊井 幼子

法和源性

櫻井

先祖より数代に傳家名宗以而家
當時小正法他和誠強信より記櫻井
お多郎 信よりヨリ多相書之中心

家一故 櫻花菱

幼一故 九曜

暮一故 桜花菱

書多信信信

八右

信昌

母 玉志

妻 石志

甲別之生

年朔日

孝義十五四年

神名所代父安藏より信志志より而信

二曾信昌上國所子志之百孫多志

信信

寛永十九年九月九日大書

信行在少豊高多地子

明暦元年四月九日信行、信死年

元初修名 古法常心 年近早福 白宗
冬有葦

修名

印字 清八

母 子

喜 子

於江戶出生

明曆四年戊戌年九月五日 父修月 於江戶
元初修名 年九月五日 父修月 於江戶
修名 於江戶 於江戶

明曆四年戊戌年九月五日 父修月 於江戶
元初修名 年九月五日 父修月 於江戶
修名 於江戶 於江戶
元初修名 乙酉年十二月十日 父修月 於江戶
知号 瑞雪 瑞雪 瑞雪 以上

系

系 曲

母 子

元初修名 乙酉年十二月十日 父修月 於江戶
修名 於江戶 於江戶

法名 五影 初心華地土白

信春

海之内

母 五志

妻 五志

於今 五志

實文九 己酉年四月 五志 此男 五志

清福院 於 櫻白河 於 五志 表河 五志

作身 五志 五志

同年十月 五志 河 五志 五志 五志

同年月 五志 五志 五志 五志 五志

五志 年 月 日 五志 河 五志 五志 五志

合 五志 五志 五志

延 五志 五志 年 十月 五志 五志 五志 五志

五志 五志 洞 五志 五志 五志

信福

初 五志

母 五志

妻 五志

於今 五志

年月 五志 五志 五志 五志 五志

中書省少府監丞

年月日

孫

年月日

神

年月日

年

信

母

母

母

毒

母

於

年月日

日

於

日

信

信

母

母

母

書

書院門内

右田市力

於

元禄三年八月廿五日
元禄三年八月廿五日
元禄三年八月廿五日
元禄三年八月廿五日

文照

元禄三年八月廿五日

元禄三年八月廿五日
元禄三年八月廿五日
元禄三年八月廿五日
元禄三年八月廿五日

甲府

有德

上

元禄三年八月廿五日
元禄三年八月廿五日
元禄三年八月廿五日
元禄三年八月廿五日

信則

或馬

廿

右田市力

妻 氏名

於何年出生

延喜元年四月廿八日父先達与麻呂

年八月廿九日春中甲子法道与麻呂

甲子年八月廿九日

子

保法自居妻

母

上育

女子

母

上育

甲子年正月廿八日信光女子

信久

久門

妻母

育

實父

保法自居妻

實母

信行女

妻

信行

於何年出生

延喜元年正月廿八日信光孫信行

信行末胡女子

實延元年八月廿九日信光孫信行

信行甲子年正月廿八日信光孫信行

明和八年正月廿八日信光孫信行

八方号 宗子伯 善也

信乃

母 家女

甲辰卯春大孫達以多之礼

事 皇田三石門 為孫女

於甲辰 出生

明和八年卯年十月公父孫月外一過也

於此山台 出生多之礼 及於知少之禮書

入仕

天明二年寅年正月十日甲辰卯春卯書入

仕 於此 松平正新書 及於卯書

寛政三年三月十日卯辰卯春卯書外

於此卯一在浦一 卯辰卯書 卯辰卯書

卯辰卯書 卯辰卯書 卯辰卯書

同十廿年卯年十二月十日卯辰卯書

高房 卯辰卯書

母 家女

寛政七年十月十日卯辰卯書

卯辰卯書 卯辰卯書 卯辰卯書

信度 樵多所

母 育

喜 育

於中府出生

信實 胎多所

母 育

高部有房信 生爾

方知三卷三年 十月

櫻井正三郎 五

十二月晦
紅紙路(信)多所

為系氏
子信正信(信)多所 ○ 地田是信

系譜

乙
赤 女信正

小室信正
紅紙路(信)多所
櫻井正三郎

安部姓

楊井氏

先祖之稱云宿丸位法小園司十三年
在中之時宿丸喜男以存光等曰亦
依之致楊井。后任仕楊井与孫号

幕一收

奇丸曜
楊丸曜

家一收

奇丸曜

勢一收

楊丸曜

安部比羅又、常云兩妻宿丸
吹曾楊井珍命光等皆同中後後胤
楊井忠之、政茂治曾

定政

七人

母 節之

依友角孫 女

喜 節之

酒多孫之 女

政善

七人

常憲隆孫所代延享二年定年山勢定方以
正、尚所、中、北、西、之、未、任、号、他、楊、井
七人、政、位、家、之、号

政能

源泰

母

喜

夫人長女

喜 隆慶元年

慶安元年

延享五年

自享二年

元禄七年

...

...

...

...

...

文昭院

...

...

...

...

...

...

寛保十二年四月二十一日
寛保十二年四月二十一日
寛保十二年四月二十一日
寛保十二年四月二十一日

通看

中宮

母 藤原氏

正徳九年正月廿五日
正徳九年正月廿五日
正徳九年正月廿五日
正徳九年正月廿五日

能董

中宮

母 藤原氏

寛保十二年四月二十一日
寛保十二年四月二十一日
寛保十二年四月二十一日
寛保十二年四月二十一日

出羽守 藤原氏

政苗

長幼

甲也

母 藤原氏

女子

藤原氏

長子 藤原氏

母 藤原氏

寛保

藤原氏

知名又珍命

母 藤原氏

長子 藤原氏

細井中八命 藤原氏

寛保十二年四月二十一日
寛保十二年四月二十一日
寛保十二年四月二十一日
寛保十二年四月二十一日

有德院様御代 享保十七年八月廿七日
 檢事 病死 八月廿七日 檢事 病死
 式部 病死 八月廿七日 式部 病死
 左大臣 病死 八月廿七日 左大臣 病死
 右大臣 病死 八月廿七日 右大臣 病死
 大納言 病死 八月廿七日 大納言 病死
 中納言 病死 八月廿七日 中納言 病死
 少納言 病死 八月廿七日 少納言 病死
 近衛 病死 八月廿七日 近衛 病死
 藤原 病死 八月廿七日 藤原 病死
 源氏 病死 八月廿七日 源氏 病死
 平氏 病死 八月廿七日 平氏 病死
 橘氏 病死 八月廿七日 橘氏 病死
 日野氏 病死 八月廿七日 日野氏 病死
 石川氏 病死 八月廿七日 石川氏 病死
 山内氏 病死 八月廿七日 山内氏 病死
 土御門氏 病死 八月廿七日 土御門氏 病死
 北條氏 病死 八月廿七日 北條氏 病死
 松平氏 病死 八月廿七日 松平氏 病死
 徳川氏 病死 八月廿七日 徳川氏 病死

能久

母 細井宗公 贈妻 女

権左衛門 卯辰 七ノ月 臨終 井根

享保十七年八月廿七日 生誕 能久

有德院様御代 元文三戌年年 幸方 孫 幸方

初死 同年十月廿七日 幸方 孫 幸方 孫 幸方
 幸方 孫 幸方 孫 幸方 孫 幸方

享保十七年十月廿七日 幸方 孫 幸方 孫 幸方
 幸方 孫 幸方 孫 幸方 孫 幸方

入心 竹内 甚良

同八戌年十月廿七日 幸方 孫 幸方 孫 幸方
 幸方 孫 幸方 孫 幸方 孫 幸方

能定書交祀歲其居

明和元甲申年八月十日

定政二原申年二月十日

華地回身 号 常 友 院 安 乃 表 食 心

政氏 孫 孫 孫 知 名 孫 孫 孫

母 曰 乙

宣屬十三登末年十二月廿日

能定書交祀

能定書交祀 荒 五 節

母 曰 乙

明和元甲申年八月十日

若按書交祀 堀 曰 乙 申 年 乙 丑 年 乙 未 年

若按書交祀 堀 曰 乙 申 年 乙 丑 年 乙 未 年

若按書交祀 堀 曰 乙 申 年 乙 丑 年 乙 未 年

若按書交祀 堀 曰 乙 申 年 乙 丑 年 乙 未 年

若按書交祀 堀 曰 乙 申 年 乙 丑 年 乙 未 年

若按書交祀 堀 曰 乙 申 年 乙 丑 年 乙 未 年

孫 孫 孫 知 名 孫 孫 孫

政氏 孫 孫 孫 知 名 孫 孫 孫

實父

楊再修著光保

實母

楊再修著光保

喜新著

石神八郎著光保

喜新著 石神八郎著光保

喜新著 石神八郎著光保

喜新著 石神八郎著光保

喜新著 石神八郎著光保

喜新著 石神八郎著光保

喜新著 石神八郎著光保

喜新著 石神八郎著光保

喜新著 石神八郎著光保

喜新著 石神八郎著光保

喜新著 石神八郎著光保

喜新著 石神八郎著光保

喜新著 石神八郎著光保

喜新著 石神八郎著光保

喜新著 石神八郎著光保

喜新著 石神八郎著光保

喜新著 石神八郎著光保

喜新著 石神八郎著光保

同中乙午年八月廿二日
同日乙午年八月廿二日
同日乙午年八月廿二日
同日乙午年八月廿二日

某 名 早也

母 女 中書法師和誠師信子也

女 中書法師和誠師信子也

母 女 酒井市郎孫子也

女 胎於信子之後一喜

政忠 一 氏名

母 女 中書法師和誠師信子也

喜 男 官時什信子也

安永二年己未年正月廿七日

和父孫孫信和是年有和孫孫信和

不實政九丁己未年正月廿七日

上書之在初信和信和

和父孫孫信和一口孫和父孫孫信和

信和和父孫孫信和

實之在乙未年正月廿七日

同年正月廿七日

杉本河原守の
孫河原守光成

改姓

東へゆ

新の若狭守

母の

女

二階中

口原左門の御妻

母の

子御守

河原守

河原守の御妻
天原守の御妻

河原守の御妻

河原守の御妻

河原守

未十二万九千の
河原守の御妻

河原守の御妻
子御守の御妻

先祖書

河原守の御妻
河原守の御妻

河原守の御妻
河原守の御妻
河原守の御妻

清和源姓

櫻井

何端与頼義之男新羅之新義光
より櫻井之弟の信利近叔代へ
且家名記号へ新羅家名向時中書
又信利新羅助信与之新羅櫻井信利
信与より新羅へ成書之
家へ改 新羅家名
初へ改 水曜
幕へ改 信利之虎へ文字
新羅家名

櫻井之弟の信利
信休

幼穉新羅後高之

女田信之

母

原崇之弟の信之

喜

子名

新羅之弟

寛文二三年二月廿七日

常憲院神代所記

新羅見仕所
新羅入り
日八廿申年七月廿七日

法名 桂名院 瑞定 牛込宗寺 葬

信古 母 五郎

信古

喜 水野信茂 通房 女

寛文八年 申年 月 日 申 父 信 通

江 户 氏 申 申 申 申 申 申 申 申

延 享 八 年 申 年 月 日 申

常 憲 院 祿 所 申 申 申 申 申 申 申 申

年 月 日 申 申 申 申 申 申 申 申

享 徳 三 年 申 年 月 日 申 申 申 申 申 申 申 申

信 名 貴 性 常 茶 助 通 國 通 寺 葬

信 名 母 五郎

喜 水野信茂 通房 女

信完

喜 申 申 申 申 申 申 申 申

喜 申 申 申 申 申 申 申 申

喜 申 申 申 申 申 申 申 申

享 保 三 年 申 年 八 月 日 申 申 申 申 申 申 申 申

正徳十一年八月十日
自徳能也与子記
同日九月十日
所服之部

有徳院所見仁其之上

上意之日十月十日
郭内様御座
室曆之登
室三上
地村 東光寺

女子

母

上

志村

母

上

水新 控之部

正徳十一年十月十日
志村 東光寺

女子

母

上

女子

母

上

女

母

有

女

母

有

初年所生者 依年親為人 婚多必疎
依年所生者 依年親為人 婚多必疎
依年所生者 依年親為人 婚多必疎

幼者如 後言多之

信喜

母

有

信喜 於本古名之信喜也

於本古名

宣應三年十月甲辰月朔乙酉日
依年所生者 依年親為人 婚多必疎
宣應三年十月甲辰月朔乙酉日
依年所生者 依年親為人 婚多必疎
宣應三年十月甲辰月朔乙酉日
依年所生者 依年親為人 婚多必疎

信喜 於本古名之信喜也

信滿 長子

母 女子

信滿 長子

長子

母 女子
信滿 長子
實父 實母
右田市乃 重榮女

女子 早世

母 女子

早世

母 女子

母

母 女子

信所

母 女子

母 女子

母 女子

安永二年三月廿七日 父 信所

信所 早世

寛政十一年年十二月九日

礼部

女

母

上月

早稲新嘉州... 豊後... 喜

女

母

早稲... 喜

信常

母

喜

喜

喜

於甲辰生

信宗

恒以節

母

喜

信則

母

上月

右通... 喜

除... 喜

高... 喜

喜

享和三年

十月

梅井... 喜

喜

メナノ月
カ

未三月廿日
内庭甲斐守
書

先祖書

張氏
四孫書
堀田公家書

山本漢書
内庭甲斐守
堀井七左

守多海性

櫻井

先祖井上七右衛門忠清近江國早郡錦士
家名井上卜孫忠清嫡子井上七右衛門
忠次近江國早郡錦士任忠次
嫡子井上七右衛門忠清代、松平信俊
任其以林清苗子相改、年月日不知
忠清嫡子林清清九命忠昌以五命
系櫻井卜苗子相改、

幕後

九右衛門一相

家後

九右衛門一相

智後

五七一相

井上七右衛門忠清
林清清九命忠昌
忠昌

櫻井信俊 昭宗孫

母

松平信俊之妻 嘉永元年 乙未年 廿

妻

内名 松平信俊之妻 乙未年 乙未年 廿

何方之出生 信俊不知

最初松平信俊為中將少佐相勳功立家

守多海性、守多海性、守多海性、守多海性

楊井の相取

文昭後極南丸は為入り并土並一問所書は所
山切東百信信紙は山切書料は信紙は
至相取也

字永六奉七年二月廿二日所信信紙
書料百信以下全紙合之百信信紙

信紙相取不立也
正徳六年八月十日

有夢後林葉行

正徳元年八月十日

正徳元年八月十日
正徳元年八月十日
正徳元年八月十日
正徳元年八月十日
正徳元年八月十日
正徳元年八月十日
正徳元年八月十日
正徳元年八月十日
正徳元年八月十日
正徳元年八月十日

正徳元年八月十日
正徳元年八月十日
正徳元年八月十日
正徳元年八月十日
正徳元年八月十日
正徳元年八月十日
正徳元年八月十日
正徳元年八月十日
正徳元年八月十日
正徳元年八月十日

昌忠

七十九

母

内藤丹波守昌忠
母

喜

十一年三月廿九日

以并年七月信明女

正位也四年八月廿九日

元文二年乙未八月廿九日

孫山竹山家督長子也

任是守殿也竹山如父的

以能少事法又其後

元文也乙未年八月廿九日

同文也乙未年七月廿九日

台也多事法其後也

實保二壬午年七月十八日

以竹山台也乙未年

元文也乙未年八月廿九日

能也也竹山台也乙未年

同文也乙未年七月廿九日

元文也乙未年八月廿九日

孫山竹山家督長子也

任是守殿也竹山如父的

以能少事法又其後

元文也乙未年八月廿九日

同文也乙未年七月廿九日

葬地有号 逝宜日度

昌寬

七三

母

中書法部年三月廿八日

信明母

延喜元年三月廿八日

法明院行代

延喜元年三月廿八日

所目見化青洞

延喜元年三月廿八日

下出中人他

修其善一逝也

松年右近

延喜元年三月廿八日

延喜元年三月廿八日

延喜元年三月廿八日

延喜元年三月廿八日

延喜元年三月廿八日

延喜元年三月廿八日

延喜元年三月廿八日

延喜元年三月廿八日

安永四年八月廿七日
 同九月五年十二月廿七日
 後明彦孫山月之仁君所著相勸之仁君之仁君
 初死後山月之仁君所著相勸之仁君之仁君
 宣政元年正月廿七日
 同三年正月廿七日
 同六年正月廿七日
 同七年正月廿七日
 同八年正月廿七日
 同九年正月廿七日
 同十年正月廿七日
 同十一年正月廿七日
 同十二年正月廿七日
 同十三年正月廿七日
 同十四年正月廿七日
 同十五年正月廿七日
 同十六年正月廿七日
 同十七年正月廿七日
 同十八年正月廿七日
 同十九年正月廿七日
 同二十年正月廿七日
 同二十一年正月廿七日
 同二十二年正月廿七日
 同二十三年正月廿七日
 同二十四年正月廿七日
 同二十五年正月廿七日
 同二十六年正月廿七日
 同二十七年正月廿七日
 同二十八年正月廿七日
 同二十九年正月廿七日
 同三十年正月廿七日
 同三十一年正月廿七日
 同三十二年正月廿七日
 同三十三年正月廿七日
 同三十四年正月廿七日
 同三十五年正月廿七日
 同三十六年正月廿七日
 同三十七年正月廿七日
 同三十八年正月廿七日
 同三十九年正月廿七日
 同四十年正月廿七日
 同四十一年正月廿七日
 同四十二年正月廿七日
 同四十三年正月廿七日
 同四十四年正月廿七日
 同四十五年正月廿七日
 同四十六年正月廿七日
 同四十七年正月廿七日
 同四十八年正月廿七日
 同四十九年正月廿七日
 同五十年正月廿七日
 同五十一年正月廿七日
 同五十二年正月廿七日
 同五十三年正月廿七日
 同五十四年正月廿七日
 同五十五年正月廿七日
 同五十六年正月廿七日
 同五十七年正月廿七日
 同五十八年正月廿七日
 同五十九年正月廿七日
 同六十年正月廿七日
 同六十年正月廿七日

新洲周府跡
 上質相和還所
 所見見仁何人
 同九丁巳年
 同十丁巳年
 同十一丁巳年
 同十二丁巳年
 同十三丁巳年
 同十四丁巳年
 同十五丁巳年
 同十六丁巳年
 同十七丁巳年
 同十八丁巳年
 同十九丁巳年
 同二十丁巳年
 同二十一丁巳年
 同二十二丁巳年
 同二十三丁巳年
 同二十四丁巳年
 同二十五丁巳年
 同二十六丁巳年
 同二十七丁巳年
 同二十八丁巳年
 同二十九丁巳年
 同三十丁巳年
 同三十一丁巳年
 同三十二丁巳年
 同三十三丁巳年
 同三十四丁巳年
 同三十五丁巳年
 同三十六丁巳年
 同三十七丁巳年
 同三十八丁巳年
 同三十九丁巳年
 同四十丁巳年
 同四十一丁巳年
 同四十二丁巳年
 同四十三丁巳年
 同四十四丁巳年
 同四十五丁巳年
 同四十六丁巳年
 同四十七丁巳年
 同四十八丁巳年
 同四十九丁巳年
 同五十丁巳年
 同五十一丁巳年
 同五十二丁巳年
 同五十三丁巳年
 同五十四丁巳年
 同五十五丁巳年
 同五十六丁巳年
 同五十七丁巳年
 同五十八丁巳年
 同五十九丁巳年
 同六十丁巳年
 同六十一丁巳年
 同六十二丁巳年
 同六十三丁巳年
 同六十四丁巳年
 同六十五丁巳年
 同六十六丁巳年
 同六十七丁巳年
 同六十八丁巳年
 同六十九丁巳年
 同七十丁巳年
 同七十一丁巳年
 同七十二丁巳年
 同七十三丁巳年
 同七十四丁巳年
 同七十五丁巳年
 同七十六丁巳年
 同七十七丁巳年
 同七十八丁巳年
 同七十九丁巳年
 同八十丁巳年
 同八十一丁巳年
 同八十二丁巳年
 同八十三丁巳年
 同八十四丁巳年
 同八十五丁巳年
 同八十六丁巳年
 同八十七丁巳年
 同八十八丁巳年
 同八十九丁巳年
 同九十丁巳年
 同九十一丁巳年
 同九十二丁巳年
 同九十三丁巳年
 同九十四丁巳年
 同九十五丁巳年
 同九十六丁巳年
 同九十七丁巳年
 同九十八丁巳年
 同九十九丁巳年
 同一百丁巳年

作后

女子

母 元室御子 櫻井七左衛門昌忠子

宣長櫻井七左衛門昌忠子

一 和歌山守治能若依皇孫而皇孫之孫

天明五年十月廿五日辰刻

午時子刻辰刻

所於後屋所見之御所

一 浮城在浦新五等所櫻井七左衛門昌忠代

浮城在浦

宣長御子五年十月廿五日辰刻

長原在浦新五等所之御所

右之通沙路

本國近江 浮城在浦新五等所

高上宮儀 生國寺

内方乃路儀

昌忠

櫻井七左衛門 昌忠

宣長御子五年十月

杉年
ぬ六

系信

信和
七書
○城田

西元
山書院
吉田志摩
杉井徳藏

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

信和信氏 櫻井

德川出守長教之三男 櫻井
内務正信定三列 櫻井城代信白
櫻井之改

幕之改 櫻 九曜

家之改 葵 櫻

勢之改 九曜

信定三氏

信定

信平一

家重

内膳正

家次

内膳

監物

信高

親信

脇士

与平

信高

母喜不知

天文十七年 年三列

信和信氏 櫻井

永保元年 乙未年正月廿五日 於比奈物守

寺江掛川城 御守 今川氏五郎右衛門

出陣川城 御守

信和信氏 櫻井

移向金村二十号以死葬地也
法身在墓

集 辰丸出家了云 宗念

母也

牛喜 中身修了云修也

弘治二丙辰年生三列

権現孫所代家名依幼年三親到以新并

牙城由并一正位有出言有仁也

天正二丁戌年四月云

権現孫遠云修和以抱所出根大身城三新

身内云云 所攻云云身内云云城云

出防也云

権現孫所了先云新云并中身有内云云保

勤七部 右京大助大徳年云云新在

后云并云并死仕右京念伯父中身并

云并云并云并大樹寺云云出家仕

云并云并改寺云并云并

文保三丁午年九月

権現孫云云云修所通云云云并云并

親先能所存節 若身物家了 諸
國系下 亦了 以心
所意以 為 海家 亦 亦 亦
子
慶長元 亦 亦 亦 亦 亦
所例 亦 亦 亦 亦 亦
為所用 亦 亦 亦 亦 亦
所上 亦 亦 亦 亦 亦
亦 亦 亦 亦 亦
百心 亦 亦 亦 亦 亦

慶長二十一年七月 亦 亦 亦 亦 亦
亦 亦 亦 亦 亦

正名

亦 亦 亦

亦 亦 亦

亦 亦 亦 亦 亦
亦 亦 亦 亦 亦
亦 亦 亦 亦 亦
亦 亦 亦 亦 亦
亦 亦 亦 亦 亦
亦 亦 亦 亦 亦
亦 亦 亦 亦 亦
亦 亦 亦 亦 亦
亦 亦 亦 亦 亦
亦 亦 亦 亦 亦

権北孫 河州 貞仁

慶長十二年 河州 孫助 孫

同十二年 三月

公任院孫 河州 貞仁 貞新 孝子

河州 貞新 貞新 貞新 貞新 貞新

貞新 貞新 貞新 貞新 貞新 貞新

貞新 貞新 貞新 貞新 貞新 貞新

河州 貞新 貞新

大猷院孫 河州 貞仁 貞新 貞新

明曆三年 貞新 貞新 貞新

華宗 貞新 貞新 貞新

号 梅屋院 貞新 貞新 貞新

正勝

正勝

勝吉

宗恩

母

河海園 貞新

生 貞新

大猷院孫 河州 貞新 貞新 貞新

明曆元年 十二月 貞新 貞新 貞新

如父 貞新 貞新 貞新 貞新

寶文四年辰年秋本使所南築地
石龜塚

元祿二年八月廿九日

葬比内守 号松竹院 号其字恩哲

岳親

在野

松井内記

母家子

尾張大御之殿 御吉所

寶永十年丙午八月廿九日

光緒二年八月廿九日

尚附 松井内記 藤定家

東

号世

松井内記

母家子

生以府

延享九年庚午七月廿九日

葬比内守 地中 清徳院

号 光月可電

信連

新嘉

今少所

西名門

松本

自傳

去母 一

名高松藩通政方作客

実父

村上守貞通政少将

実母

北條妙子
長谷川通政女

喜

松井宗恩正勝女

喜

并侍所
元禄十三年辰年九月廿九日
内田房之丞女

生江府

元禄四年五月廿一日

同年三月廿四日
松平伊予守殿侍

小菅清経大久保重直の五女

享保二丁酉年正月廿九日

同丁酉年正月廿九日
小田切重直

同丁酉年正月廿九日
松平伊予守殿侍

同丁酉年二月廿九日

葬下之向延壽
号貞性院自傳

女子

女子
信達書

母女子

女子
守世主人

母女子

女子年世

母

楊井宗恩正勝女

定博

文正年

冬月

母

楊井宗恩正勝女

正喜

生

享保土丙午年正月廿五日
何處之故傳由書信由田切

高松又曰人高松

同中丁未年二月

中法新館附以道百番以改料

賜之水神和泉寺

御月之口 修仁若年

同十六年 亥年

漸日所派以先以和年

國命之也

萬年

同十七年 亥年

同年十月廿五日 貞白 弘文館
同大正七年二月十日

所由所由用人口 弘文館

有他院採折在向日 弘文館 弘文館

弘文館 弘文館

同年十二月十日 弘文館 弘文館

同大正七年二月十日 弘文館 弘文館

弘文館 弘文館

弘文館 弘文館

弘文館 弘文館

弘文館 弘文館

弘文館 弘文館

弘文館 弘文館

弘文館 弘文館

弘文館 弘文館

弘文館 弘文館

弘文館 弘文館

弘文館 弘文館

弘文館 弘文館

弘文館 弘文館

寛延三己年三月廿一日
御田所御多御侍
寛延三己年三月廿一日
御田所御多御侍
寛延三己年三月廿一日
御田所御多御侍

某 母有

櫻井氏

信美

尾崎氏

父文元 母辰年八月廿一日 少室治部大圓

通徳 定徳

櫻井氏

某

母有

櫻井氏

某

母有

櫻井氏

女子

母有

此處終極訪知三の定勝嫁也

子孫存離別
平後中書尚書院著洪谷臨為書與之
川勝年久其體恭素其

信移

改命

文書

母

書

中書

久為教馬通虎

書

小書

加及勝之信志五七

生

元久至平申年三月十日

此乃目錄也

所見之書 仍見之後父文書又四後

所見之書 仍見之後父文書又四後

至曆九己卯年八月十日

口年七月十日

仍中書信 抄年抄母之記

抄年抄馬之記

明和元年十二月十日

西所藏之書也

安永元年四月十日

藤原同守 号得全院 卯是之性

女子

少子治

何丹小原之胎有喜

母有

女子

少子治

何次原以之赤抱女

母有

系

早世

母有

女子

早世

母有

系

早世

母

生江府

櫻井公家

如高勝寺通女

安永三年三月死

藤原同守

号白岩

如高

女子

早世

母有

少子治

出高原云云任年喜

女子

母有

定雄

英三命

女子
實父
實母
喜
加藤勝彦志通女
何山寺以所志通曾
櫻井文定定情女
櫻井文定信修女

生白府

安永四年四月三日急死

同年七月八日跡目板倉休治忠信傳

山崎清永井堅物五紀又

同下 同年四月廿七日死十七

喜永口寺 号桃葉院天卷了藏

女子

母
女子
櫻井真定喜
加藤勝彦女

定芳

信芳

女子
櫻井文定信修女

實父
山崎清永
信修女以所志通曾

實母
櫻井文定定情女

喜
信修女信修女改節女子

安永四年七月八日 實母女子

下

既月相會... 山... 永井
監...
天... 甲... 乙...
定... 乙... 丙... 丁...
肥... 乙...
日... 丙... 丁... 戊...
... 乙... 丙...
... 乙... 丙...
... 乙... 丙...

定保

母

...

...

...

定維

母

...

...

...

...

...

...

...

...

...

五

天

Faint bleed-through text from the reverse side of the page, including characters like 天, 地, 人, 物, 事, 理.

先祖書

未ナリナク
在る智成老公

藤原氏
子以智成老公
加用長久寺

有る人書
系川
登八
友

在る智成老公
梅井友成

先之祖書

前系姓

楊井

市江

切行、百、崔

日改

楊八花年

幕後

りり

許寧朝之在楊井治新光之十一代孫信村小縣郡
湯嶽道一人楊井京新乃人書久後居世身中久之身
号常樂祥定門

一之祖

生心 共信氏

楊井忠助 正吉

母 武向味佐之孫下

伴野次右衛門尉

右忠助依父京新乃人書久端子仁書未久也

正吉下号

高系 在別 治曾孫治部也長 唐全保又忠係 一同武向味佐

孫下其向少於也信書人 以孫身 幕後りり 偏人

則其向孫孫一人見才下信村之在忠之孫身

忠飲治下野書幕端子右多乃依忠助亦助忠

我向信村生書後右忠依 忠助也 河南家

以石忠 正吉十四年七月廿日

楊氏孫 甲斐一初居下 河出子之忠助二十四年

右忠依原信村依久那春日村自奥見以中

要守書一也山中忠之楊梅親兵根不之孫治忠也

相傳同也忠尾之孫也 忠尾少孫新之正吉也

楊氏孫治部孫 常樂祥定門日向中書系 其外功也

丁之代月 生不計

楊井宗助 正次

母 治方重三子重三子
号藏山堂心子

古藏山堂心子

古藏山堂心子 十八号心子 古藏山堂心子

所藏山堂心子 古藏山堂心子 古藏山堂心子

古藏山堂心子 古藏山堂心子 古藏山堂心子

古藏山堂心子 古藏山堂心子 古藏山堂心子

古藏山堂心子

古藏山堂心子

常憲院様河代 御筆 宣下 河代 御用之 御用

宣下 河代 御用之 御用 宣下 河代 御用之 御用

宣下 河代 御用之 御用 宣下 河代 御用之 御用

宣下 河代 御用之 御用 宣下 河代 御用之 御用

宣下 河代 御用之 御用 宣下 河代 御用之 御用

宣下 河代 御用之 御用 宣下 河代 御用之 御用

宣下 河代 御用之 御用 宣下 河代 御用之 御用

宣下 河代 御用之 御用 宣下 河代 御用之 御用

宣下 河代 御用之 御用 宣下 河代 御用之 御用

宣下 河代 御用之 御用 宣下 河代 御用之 御用

し... 天... 年... 十... 外... 也...
... 年... 十... 外... 也...
... 年... 十... 外... 也...

正... 書... 皇... 田... 志... 善... 宗... 久... 女...

日... 皇... 田... 志... 善... 宗... 久... 女...

右... 宗... 助... 次... 郎... 也... 皇... 田... 志... 善... 宗... 久... 女...

日... 皇... 田... 志... 善... 宗... 久... 女...

右... 宗... 助... 次... 郎... 也... 皇... 田... 志... 善... 宗... 久... 女...

日... 皇... 田... 志... 善... 宗... 久... 女...

日... 皇... 田... 志... 善... 宗... 久... 女...

日... 皇... 田... 志... 善... 宗... 久... 女...

日... 皇... 田... 志... 善... 宗... 久... 女...

右... 皇... 田... 志... 善... 宗... 久... 女...

孫... 井... 宗... 助... 次... 郎... 也...

一... 日... 皇... 田... 志... 善... 宗... 久... 女...

母... 皇... 田... 志... 善... 宗... 久... 女...

右... 皇... 田... 志... 善... 宗... 久... 女...

常憲院様御代書元亨三年十月十日

作有書 山家元亨 作有書 大正御代書

文昭院様 作有書 山家元亨 作有書 大正御代書

有書此様御代書 元亨三年十月十日

元亨三年十月十日

元亨三年十月十日

元亨三年十月十日

正書之書 元亨三年十月十日

元亨三年十月十日

元亨三年十月十日

元亨三年十月十日

元亨三年十月十日

一子成月 元亨三年十月十日

元亨三年十月十日

元亨三年十月十日

元亨三年十月十日

元亨三年十月十日

又延才... 延才... 延才...

...

有... 延才... 延才...

...

...

...

有... 延才... 延才...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

日女子 山有遠地也 命曰孫年女也信其

日女子 也

右宮之紀以孫家牛游以久其也 山有遠地也 命曰孫年女也信其

孫年女也信其

一古也月 美也哉

孫年女也信其

孫年女也信其

右在也哉

右德孫所代宮孫元亨五年十月一日有孫年女也

山有遠地也 命曰孫年女也信其

山有遠地也 命曰孫年女也信其

山有遠地也 命曰孫年女也信其

山有遠地也

山有遠地也 命曰孫年女也信其

山有遠地也 命曰孫年女也信其

山有遠地也 命曰孫年女也信其

山有遠地也 命曰孫年女也信其

山有遠地也 命曰孫年女也信其

山有遠地也 命曰孫年女也信其

日也

日也

日也

日也

日也

日也

小善修徳の由中略云

新日新

松平定房の忠教書

石丸信之助の忠教書

右の如く

寛政十一年十二月

福井右衛門

年終脱

五

去月十日

馬川右衛門

信和源介

百七十七番〇城田右衛門

先祖書

三

信和

山人

星川右衛門

福井右衛門

清和源氏之祖、次子年駒統、并
傳來之系、系、記、孫、續、其、仁、高、甲、
後、由、名、

三、信、爾、人、

梅井、信、乃、也、

定、信、

定、義、

梅井、信、乃、也、

定、信、
天、下

梅井、信、乃、也、

美、明、

梅井、信、乃、也、

貴、明、

梅井、信、乃、也、

貴、信、

梅井、信、乃、也、

貴、惟、

梅井、信、乃、也、

惠、門、

梅井、信、乃、也、

貴、威、

梅井、信、乃、也、

女子

女子

德治八册榮華

柳系瑞五郎

女子

男子

柳井万助五郎

男也

貴賢

柳井石八郎

原政

原野信三郎

男子

柳井德五郎

女子

男也

貴道

柳井公三郎

秀賢

柳系茂五郎

貴赴

柳井公三郎

女子

柳井信三郎

男子

貴貞

德公編修

男子

櫻井修也

先祖書

源姓

櫻井

家之政

櫻井

幕之政

因

皆之政

几曜

法和源氏先祖之政先年於統一
幕修書一系身記源姓矣任書印
之印也

一印代

南宮
山崎

櫻井修也

母系

右居方是定住候

指原保所ノ下ノ系一頃迄名以傳仁年月日
不知也切米上原信如人故功より至何
の事よりお初め候事

寛永二十二年三月十日病死仕年不知

後系門地中走馬寺に葬

法号 法海院宗賢

定住妻不知

日人不知 法海院

一二月日

蒲原

指原保所定住惣取

指原保所定住

母系

不定妻候

右住原保所人年月日不知法号不知 年居候成

以下是の系の人不知

寛文二十二年三月十日病死仕年不知

葬地不知 法号法海院宗賢

井上保所

小宮保所

定住妻

日人不知

法海院

楊梅氏定長子
楊梅氏定長二男

一三竹月

蘭氏

楊梅氏定長

楊梅氏定長子

定長子

定長子

前番後村山守實文二子其年九月貴公定長

和氣長子也其子也其子也其子也其子也

其子也其子也其子也其子也其子也其子也

其子也其子也

河原孫 河原所也其子也其子也

元祿四年庚申二月十日 楊梅氏定長

楊梅氏定長子 楊梅氏定長子

定長子

子

河原孫

河原所也其子也

楊梅氏定長子

楊梅氏定長子

一四竹月

定長子

楊梅氏定長子

定長子

定長子

清明祭書

同人之墓子 謹奉

楊井平公前清明祭書
瑞永公之墓

一六代月 三月廿九日

楊井林之墓前

書女之墓

宣母 楊井脚子

不林之墓前

崇寧慶林門代之墓前

和氣之墓前

繪入之墓前

同定七年三月十日 去父親之墓前

年三月十日 井上河内之墓前

所人之墓前

去保十三年三月十日

惟信後孫西九之墓前

同年三月十日 昭所之墓前

同十九日 亥年八月十八日 昭所之墓前

昭所之墓前

昭所之墓前

去歲夏秋以修後

元文四年八月十日与西九川所

川所所記曰 修後至一也 川所記曰 修後

川所記曰 修後至一也 川所記曰 修後

川所記曰 修後至一也 川所記曰 修後

川所記曰 修後至一也 川所記曰 修後

川所記曰 修後至一也 川所記曰 修後

川所記曰 修後至一也 川所記曰 修後

川所記曰 修後至一也 川所記曰 修後

川所記曰 修後至一也 川所記曰 修後

以下至分 杉年 石道所修後

同立亭己年八月十日

仁親廣保 川所記曰 修後

石道所修後

川所記曰 修後

仁親廣保 杉年 十月十日

川所記曰 修後

川所記曰

安永二癸己年六月十日

川所記曰 修後

右記の如く修成山寺に於て
外記あり

日年七月廿九年九月
治号 岩城院 修成

浪人

貴也書

治本修成女

日人熱心

漢東 治本

日人改男

正倉 治本 修成門

母修成修成女

延享正和元年六月廿一日
修成山寺

修成山寺

日人三男

治本 修成

母同之

年月日未詳 日人修成
修成山寺

日人女

修成山寺

母同之

修成山寺

日人女

修成山寺

日人女

修成山寺

昭和二十五年四月二十日 貴惟忠男
助子行 紀事新全集 昭和二十五年

貴惟忠男

櫻田 徳子

母

父

母

昭和二十五年四月二十日 貴惟忠男

貴惟忠男

一八代目

生

櫻田 徳子

母

父

母

母

父

昭和二十五年四月二十日 貴惟忠男

七月十日 貴惟忠男

小十人 紀事新全集

昭和二十五年四月二十日 貴惟忠男

昭和二十五年四月二十日 貴惟忠男

昭和二十五年四月二十日 貴惟忠男

昭和二十五年四月二十日 貴惟忠男

昭和二十五年四月二十日 貴惟忠男

改男

中書院記 右訓後行中書院
楊永新行多修

母

宣政二年庚午八月廿一日 中書院記 右訓後
楊永新行多修

三男

楊井千三行清赴

母

女

母

四男

楊井海助

母

宣政二年庚午八月廿一日 中書院記 右訓後

五男

楊井源行清赴

母

宣政二年庚午八月廿一日 中書院記 右訓後

六男

楊井行清赴

母

宣政二年庚午八月廿一日

中書院記 右訓後

宣政二年庚午八月廿一日

楊井行清赴

印

[Faint, illegible handwriting on the left page]

[Faint, illegible handwriting on the right page]

